

3. 工事によるお客さまへのご迷惑を最小限とするための取組み

(1) 交通規制計画の工夫

① 工事実施時期の設定

工事実施時期についてはお客さまへのご迷惑を最小限とするため、交通量が増加する夏季交通混雑期、年末年始などと重複しないよう設定させていただきました。

② 工場で製作した製品の採用による工事期間の短縮

工事期間を短縮するため、新しい床版と壁高欄は、工場で製作した製品（プレキャストコンクリート製品）を用いて工事を実施いたします。



【現場打ち床版の施工状況】



【プレキャストコンクリート床版の施工状況】

③ 天候による工程遅延防止のための工夫

コンクリート打設等において、雨天時も作業が可能となるように雨天対策設備（仮設屋根）を導入し、天候による工程遅延のリスクを防止します。



【雨天対策設備の設置状況】

（２）お出かけ前のお客様への情報提供の強化

お出かけ前に工事区間の高速道路状況をご確認いただくために、工事専用 WEB サイト (https://restriction.c-nexco.co.jp/ttRN_21a/) (8 月中旬開設予定) で、最新の交通規制予定情報や渋滞予測、所要時間情報を提供させていただきます。

工事期間中は走行可能な車線数が減少することから渋滞が予想されておりますので、お出かけ前に工事専用 WEB サイト・ポスター・リーフレットなどの情報を参考にいただき、E85 小田厚、E1A 新東名、E20 中央道などへの迂回や混雑する時間帯を避けてのご利用などをご検討のうえ、余裕を持ってお出かけいただきますようお願いいたします。

(3) 工事専用WEBサイトにおける主な情報提供の内容

①交通規制期間中の渋滞予測のご提供

事前に迂回や混雑する時間帯を避けてのご利用をご検討いただけるよう、工事規制計画が確定でき次第、工事専用 WEB サイトで渋滞が予測される時間帯の情報提供をさせていただきます。

最新の渋滞予測は工事専用 WEB サイトで随時更新してまいりますので、ご確認をお願いします。

②所要時間情報の提供と迂回ルートのご案内（工事期間中提供）

工事期間中の最新の所要時間情報を提供しております。出発 IC と到着 IC（経由地指定も可）を選択すると、目的地までの現在の所要時間や迂回ルートがご確認いただけますので、迂回や出発時間などのご検討にご活用ください。

【所要時間情報（過年度掲載イメージ）】



※表示される所要時間は現在時の所要時間のため、交通状況の変化などにより実際にご通行された時の旅行時間とは異なる場合があります。

工事期間中、工事区間周辺の迂回ルートや一般道の所要時間を一目でご確認いただけます。
走行ルートの選択やお出かけ時間の目安をご検討いただく際にご活用ください。

各地域の所要時間のご案内 10:16 現在 ×

広域 愛知エリア 静岡エリア **神奈川・東京エリア**

現在の所要時間は道路により多少に異なります。地域ごとの道路の通行状況(工事等)により、各地域エリアの所要時間は大幅に異なる場合があります。

No.	経路	上り車(東方面)				下り車(西方面)			
		距離	走行	休憩	通行	距離	走行	休憩	通行
1	E19・E20 中央道	250 km	288分	317分	29分	288分	313分	25分	25分
2	E1A 新東名・E1 東名	336 km	233分	269分	36分	234分	265分	31分	31分
3	E1 東名	347 km	255分	320分	65分	251分	310分	56分	56分

● 現在の所要時間が最も早いルート
● 通行の所要時間が30分以上の場合、通行料金が別途必要となります
● 通行の所要時間が30分以上の場合、通行料金が別途必要となります
● 通行の所要時間が30分以上の場合、通行料金が別途必要となります

※クリックすると主要区間ごとの所要時間をご確認いただけます。

17

(4) 高速道路をご走行されているお客さまへの情報提供の強化

① 迂回ルート分岐手前での情報強化

工事期間中は、高速道路を走行されているお客さまへルート別の所要時間情報を提供するため、迂回ルートへの分岐部手前には、仮設情報板を設置いたします。走行ルートを選択される際にご活用ください。

【迂回ルートへの分岐部手前の仮設情報板の設置予定箇所】

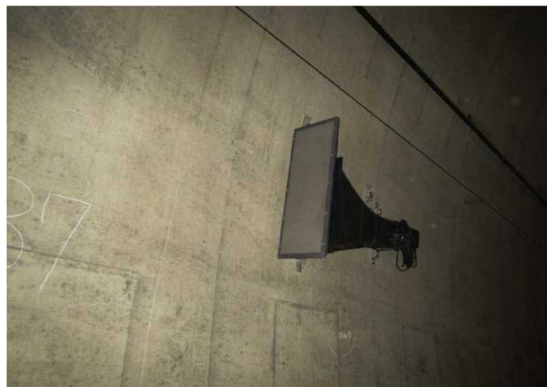


【迂回ルートへの分岐部手前の仮設情報板の所要時間表示イメージ（過年度設置状況）】



②スピーカーを用いた『音声』による注意喚起システムの導入

渋滞削減に向けた取組みとして、『音声』を用いて、トンネル内を走行中の車両へ注意喚起するシステムを導入します。本システムは、音の拡散が少ないトンネル内に複数のスピーカーを並べ、『音声』で走行中のお客さまに知らせるものです。



スピーカー設置トンネル
都夫良野トンネル（下り線）
伊佐布トンネル（上り線）

【音声注意喚起システムで使うスピーカーの例】

4. 安全に高速道路をご利用いただくための取組み

①渋滞末尾での追突事故の防止

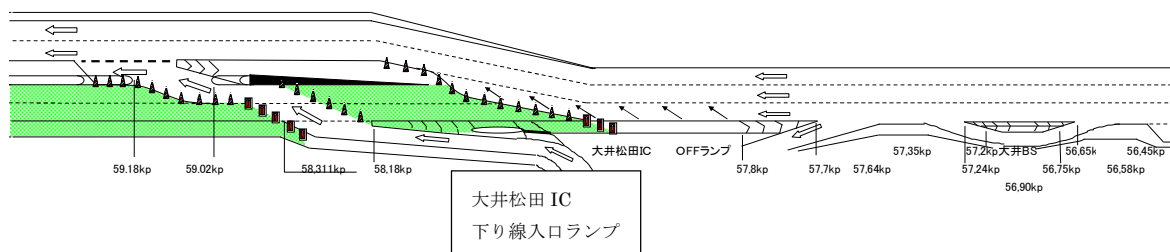
渋滞末尾での追突事故を防ぐため、渋滞状況に応じて、適切なポイントとタイミングで注意喚起をおこなうことができるように、渋滞末尾付近の路肩などに標識車を配置し、この先の交通状況や規制状況をお伝えします。



【渋滞末尾警戒車の配置例】

②東名下り線大井松田 IC 付近の規制形態について（左ルート閉鎖期間）

東名 大井松田 IC～御殿場 JCT 間 下り線左ルート閉鎖に伴う、大井松田 IC 付近の規制を以下のように実施します。規制区間では、車線減少及び大井松田 IC での分合流がございますので、走行にご注意ください。



③振動による注意喚起

対面通行規制区間手前の舗装表面に台形状のリブ（バイブラライン）を設け、車両が通過することで発生する音と振動により、注意喚起をおこないます。



④対面規制区間の中央分離帯にコンクリート防護柵を採用

対面規制区間における車両の中央分離帯突破による重大事故防止のため、仮設中央分離帯に堅固なコンクリート防護柵を採用します。

また、対面規制区間における仮設中央分離帯に使用するコンクリート防護柵は、移動式防護柵（Road Zipper System）を採用することで仮設中央分離帯の設置に要する期間の短縮を図ります。



【コンクリート防護柵設置状況の例】